

平成29年度

丹波すぐれもの大賞

TAMBA SUGUREMONO



丹波地域は、四季折々の豊かな自然や、丹波栗・丹波黒大豆などの美味しい味覚、歴史を感じる街並みや伝統工芸など多くの地域資源に恵まれ、更には京阪神からのアクセスの良さなど様々な魅力にあふれた地域です。

また、丹波地域には、優れた技術で産業界や地域の活性化に貢献している製商品や、丹波地域の特色を生かした独創的で優れた品質の食料品を製造している企業が数多く操業しています。しかし、残念ながら、こうした優れた製商品や製造している企業等について、あまり知られていないのが現状です。

そのため、地域の将来を担う若者をはじめ地域内外の多くの方々に、丹波地域の企業等の取組や製商品を知っていただき、興味や関心を高めていただくため、高い技術力による製商品の製造を行っている地元企業等を顕彰しています。

さらに、最近では、消費傾向が「モノ消費」から「コト消費」への変化に伴い、丹波地域においても、農産物を活用した体験型観光や廃校を活用したまちづくりなど様々な取組が地域各地で活発化しています。こうした地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業やイベントについても、「すぐれもの大賞」として表彰し、地域内外の多くの方に知っていただきたいとの思いから、「ときめき部門」を新設しました。

今年度は、「きらめき部門」と「わくわく部門」、新設の「ときめき部門」併せて18件の応募があり、学識者等からなる6名の審査委員による厳正な審査を経て、計6件の「すぐれもの」を決定し、受賞企業には、日本遺産としても認定を受け、丹波地域の伝統工芸として有名な丹波焼の表彰楯をお贈りしました。

丹波すぐれもの大賞は今回で7回目を迎え、これまでの受賞者の中には、五つ星ひょうごやキラリひょうごプロジェクト、モンドセレクションなど全県・全国レベルの表彰に選定された方もあります。この度の受賞が今後ますますの発展に繋がることを期待申し上げます。

今後も、「丹波すぐれもの大賞」として、企業の取組を広くアピールすることで、地域の活性化を図り、豊かな産業・ものづくりにあふれる丹波地域を創造していきたいと考えています。

講 評

審査委員会委員長 奥田 孝一
(兵庫県立但馬技術大学校長)

平成23年度に丹波県民局で創設された「丹波すぐれもの大賞」に、今年度は、「きらめき部門」、「わくわく部門」に加え、「ときめき部門」を新たに設け、全体で18件の応募があり、様々な分野の専門家等6名の審査委員による厳正な審査の結果、6件の「すぐれもの」を選出しました。

審査にあたっては、書類審査及びプレゼンテーション審査を実施し、製品や商品の革新性や高度な技術、産業界や経済界への貢献など、様々な面から審査させていただきました。

まず、きらめき部門です。

(株)おいたて工務店は、家族（子ども）の成長により変化するライフスタイルに合わせて間取りを変更できる企画住宅「SETTE（セッテ）」の新構法を開発しました。

パナソニックライティングシステムズ(株)春日工場の「LED投光器 モジュールタイプ」は、高効率LEDと高効率放熱技術により、コンパクトで、より効率的なLED投光器を開発し、用途に応じた適切な明るさと配光を選定できる豊富なラインアップを取り揃えています。

次に、わくわく部門です。

(有)こやま園の「丹波なた豆茶」は、大学との共同研究により健康効果が確認されている自社独自の種子を自家採取し無農薬で栽培。独自の加工でなた豆のみを贅沢に使ったお茶は、健康志向の飲用のみならず、風味や香ばしさから長期にわたる多くの愛飲者の支持を得ています。

たんばJUNちゃん農園の「丹波発 大人のPongashi」は、丹波の特産である丹波黒大豆を、兵庫県認証食品の地元「しぐら米」玄米のポン菓子に混ぜ、砂糖とバターで仕上げました。丹波の味覚を純粹に凝縮し、「安全・安心」な製品を提供しています。

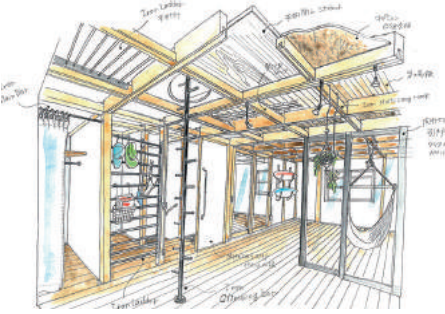
丹波婦木農場チーズ工房の「ナチュラルチーズ サンマルセラン」は、丹波地域で唯一、飼育から製造まで一貫体制でチーズを作っており、自家培養したオリジナルの乳酸菌を使用し、自家の味を追求しています。酵母の働きにより、作って間もないフレッシュでクリーミーな味から、熟成して濃厚な味へと変化していきます。

最後に、今年度新設のときめき部門です。

(同)里山工房くもべの「旧雲部小学校舎を活用した地域づくり」は、閉校した雲部小学校舎を活用し、平成25年11月にコミュニティカフェや農産物直売所を備えた「里山工房くもべ」をオープン。教室を利用したアトリエや地元野菜をふんだんに使った温かな料理は、地域内外から人気を博しています。

以上、受賞内容について簡単にご紹介しましたが、今回選外になった製商品・事業（イベント）にも、企業発展や地域貢献に向けて創意工夫が凝らされているものが多くあり、丹波地域には大変素晴らしい企業・団体があることを改めて実感しました。

最後に、皆様が今回の受賞を契機にさらなる飛躍を遂げられますよう祈念しまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。



きらめき部門

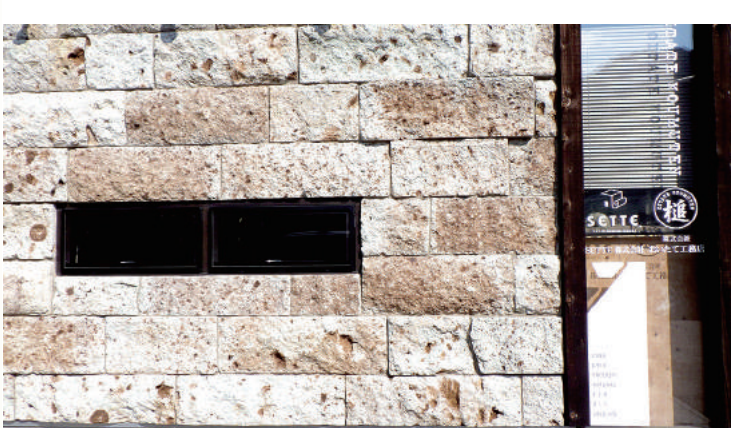
SETTE(企画住宅)

会社概要

所在地 兵庫県篠山市味間南 840-8
 代表者 追立義昭
 創業 2006年
 資本金 500万円
 社員数 1名
 事業内容 木造建築工事業、住宅新築・リフォーム工事ほか
 問合せ先 TEL/FAX : 079-594-3659
 HP <http://www.oitate-koumuten.com/>

会社沿革

平成14年11月 追立工務店を創業
 平成18年11月 株式会社おいたて工務店設立
 平成28年10月 新しい企画住宅「SETTE(セッテ)」を開発
 平成28年9月 「SETTE」の商標登録を行う
 現在、特許についても出願中
 平成28年12月 経営力向上計画認定(国土交通省)
 平成29年2月 「SETTE」の構法守るため意匠登録を行う
 現在、特許についても出願中
 平成29年7月 経営革新計画承認



株式会社おいたて工務店

企画住宅「SETTE(セッテ)」は、子どもの成長や変化するライフスタイルに合わせて、住む人が自らの手で間取りを自由に変更出来る今までにない画期的な木造住宅です。

木造住宅の良さである「柱や梁を見せる住宅を消費者に提案したい」と考え試行錯誤する中で、「むき出しの構造体を活用して、間取りを自由に変えられる住宅」という発想が生まれました。

2階は構造上最低限の柱のみを残した空間で、天井にはスリット(溝)が入った梁を格子状に1メートル間隔で組み、その溝へ襖のように壁や扉などのオリジナルパーツをはめこむ事で、部屋を間仕切り手軽かつ自由に間取りが変更できる「SETTE」が完成しました。

夫婦2人の生活ではゆったりした空間が楽しめ、子どもが生まれると壁や柱を取り付けて子ども部屋を確保するなど、必要に応じて部屋を増やしたり減らしたりできます。

更に、専用金具や金属製ラック、木製部品などの組み合わせで作り付け家具を製作するなど、住む人のアイデア次第で可能性は無限に広がる夢のある住宅です。

今後は、ますます高気密・高断熱といった住宅が主流となっていきます。そこで大切なのは室内の居住空間をいかに健康・快適にする事だと思えます。「SETTE」では柱や梁を見せることにより、木が住まい手と同じように呼吸する事ができ、ずっとこの場所にいたいと思える快適な空間を実現しました。

これからも、新たなオリジナルパーツの開発に継続して取り組み、更なるライフスタイルの変化に対応すべく商品の開発に努力を続けていきます。



きらめき部門

LED 投光器

モジュールタイプ

会社概要

所在地 兵庫県丹波市春日町黒井 908
代表者 嶋川幸次
創業 1951 年
資本金 14 億 2400 万円
社員数 1269 名
事業内容 照明器具および部品・化成品の開発・製造
問合せ先 TEL: 0795-74-1070
FAX: 0795-74-3553
HP <https://panasonic.co.jp/es/pesls/>

会社沿革

昭和26年 朝日電器株式会社を設立
松下電器産業株式会社と資本提携を行い、蛍光灯照明器具の生産を開始

昭和29年 蛍光灯器具業界最初の JIS 表示許可

昭和41年 本社工場が工業技術院長賞を受賞

昭和47年 照明器具の販路を松下電工株式会社に変更

昭和48年 社名を朝日ナショナル照明株式会社に変更

平成8年 本社（照明事業部門・システム事業部門）が ISO9001 認定取得
三重工場が ISO9002 認定取得

平成10年 本社・三重工場ともに ISO14001 認定取得

平成11年 松下電工株式会社の子会社、新潮プラスチック照明株式会社と合併
化成品事業部門（豊中・春日・新潟）が ISO14001 認定取得
三重県伊賀市ゆめぼりす伊賀に新本社が完成し操業開始

平成12年 株式交換により松下電工株式会社の完全子会社となる

平成14年 社名を朝日松下電工株式会社に変更

平成18年 松下電工株式会社の住宅照明事業部との機能統合を実施

平成19年 社名を松下電工インテリア照明株式会社に変更
群馬工場を完全子会社とし社名を朝日松下電工株式会社とする

平成20年 社名をパナソニック電工インテリア照明株式会社に変更

平成21年 次世代認定マーク（愛称：くるみん）取得

平成24年 社名をパナソニック インテリア照明株式会社に変更
東京スカイツリーに LED 照明を納入

平成25年 パナソニック株式会社 エコソリューションズ社の連結子会社、パナソニック施設照明株式会社、パナソニック建築照明株式会社と合併
社名をパナソニックライティングシステムズ株式会社に変更

平成26年 本社を大阪府門真市（パナソニック（株）エコソリューションズ社内）に移転

平成27年 門真本社と3工場（伊賀、春日、福井）の拠点体制となる

パナソニックライティングシステムズ(株) 春日工場

投光器は特定の方向に強い光が出る照明器具でスポーツ競技の夜間照明や、建物をライトアップし夜間景観を演出します。

パナソニックのLED投光器の特徴は、高効率なLEDモジュールにより、水銀灯に比べ大幅な電力量削減（50%）が図れます。

また、独自の配光制御技術とモジュール構造の採用により、1モジュールから6モジュールの組み合わせで、大・中規模の競技場から中・小規模の広場・駐車場など、様々な施設に適した投光器をフルラインナップしており、東京ドームや市立吹田サッカースタジアム（ガンバ大阪ホーム）などにも採用されています。

その他にも次のような特徴があります。

- 受圧面積を抑えたコンパクトボディ。取付架台への負荷を軽減。
- 省施工を実現する電源内蔵タイプ。器具背面の結線ボックスで簡単施工。
- 衝撃に強いポリカーボネイト製前面パネルを採用。
- 落下防止ワイヤー標準装備。万が一の振動や強風による器具落下に備え安全性を向上。
- LEDの熱を効率良く放熱させる設計で光束維持率85%を実現。
- 設置当初からLEDの寿命末期まで明るさを確保。4万時間の長寿命。
- リニューアルも簡単。取付台そのまま、投光器のみ交換可能
- 水銀灯ではできなかった瞬時点灯・瞬時再点灯が可能。

パナソニックライティングシステムズ（株）春日工場では、LED 実装・金属加工・塗装加工・組立加工の優れた製造技術と設計技術により、LED 投光器のほかにも LED 防犯灯、LED 道路灯など多くの LED 照明器具を市場に提供しています。



わくわく部門

丹波なた豆茶

会社概要

所在地 兵庫県丹波市春日町黒井 1972
 代表者 小山伸洋
 創業 2001年
 資本金 300万円
 社員数 9名
 事業内容 農産物栽培 加工 販売
 問合せ先 TEL: 0795-74-2152
 FAX: 0795-74-0058
 H P <http://www.kyme.jp/>

会社沿革

平成13年 生産者グループ有機豆本舗丹波設立 なた豆の栽培販売開始
 平成15年 丹波なた豆茶製造開始
 平成16年 TBS 健康番組出演
 平成18年 有限会社こやま園設立「丹波なた豆」商標登録取得
 第53回日本栄養改善学会学術総会にて共同研究掲示発表
 平成20年 丹波なた豆「兵庫県認証食品ひょうご安心ブランド」認定
 平成21年 NHK 情報番組出演
 平成24年 有機JAS認定取得
 平成25年 丹波なた豆茶「五つ星ひょうご」認定
 KOYAMAEN INTERNATIONAL Co.,Ltd. (香港) 設立
 平成26年 製品パッケージデザインを一新、製品ラインナップの充実をはかる
 KOYAMAEN VIETNAM Co.,Ltd. (ベトナム) 設立
 平成27年 雑誌「anan」「Discover Japan」「Veggy」「Ray」取材掲載
 平成28年 丹波なた豆茶がG7神戸保険大臣会合に採用
 「ダイエット&ビューティーフェア2016」優秀賞受賞
 平成29年 「丹波なた豆茶」が丹波市ふるさと納税のお礼品として選定



有限会社こやま園

なた豆は、童話「ジャックと豆の木」のモデルになった、さやが30cm以上にもなる豆で、昔から農家の間では頼りになるお茶として飲まれてきました。このなた豆から作るお茶には、主に3つの薬効成分（カナバニン、コンカナバリンA、ウレアーゼ）が含まれ、腎機能の改善、アレルギー症状の緩和、血行促進・むくみの予防、炎症の抑制、膿の排出、歯周病予防、脂肪代謝の促進など効果があるとされています。

こやま園ではこの効果に着目して「大切な人へ送りたい」を基準に2003年より「丹波なた豆茶」の製造・販売を行っています。大学との共同研究により健康効果を確認されたオリジナルの種子のみを使用し、地元47のグループ農家とともに、無農薬、有機栽培にこだわり、原料のなた豆から栽培をしています。お茶への加工も、自社工場にて徹底した品質管理のもと一貫生産し、自社栽培圃場、加工工場共に有機JAS認証を取得しています。

他の原料を混ぜることなく、100%丹波産のなた豆のみを使用して、手間を惜しまないこだわりのオリジナル製法で作った丹波なた豆茶は、ほんのり甘くて香ばしい、どこか懐かしい味で大変飲みやすく、ノンカフェインなので幅広い年齢層の方から支持を受けており、これまでお客様よりうれしいお声を3000通以上いただいています。

2014年には、パッケージ、商品ラインナップを一新し、お客様への様々なニーズに対応できる製品づくりに取り組んでいます。また、海外市場への展開と同時に、丹波なた豆茶を通してコラボメニューの提案、地元食材のPRなど地域農産物の生産・消費拡大への貢献が期待されます。



丹波発
大人のPongashi

珈琲を2倍楽しめる
丹波発 大人のPongashi
新食感！丹波黒大豆と焦しバターのハー...

わくわく部門

会社概要

所在地 兵庫県丹波市柏原町柏原 3161-1
 代表者 岡田潤子
 創業 2017年
 社員数 2名
 事業内容 多種類のポン菓子の製造販売、黒豆の栽培、体験型農業イベントの開催
 問合せ先 TEL/FAX：0795-72-2823
 H P <http://juntyannouen.jimdo.com/>

会社沿革

平成25年6月 たんば JUN ちゃん農園として黒豆の栽培を開始
 平成27年3月 ポン菓子製造機を購入しポン菓子の研究開始
 平成27年10月 洋風ポン菓子として黒豆を使った【丹波発大人のPongashi】を開発
 平成28年8月 兵庫県女性起業家支援事業採択
 平成28年10月 ひょうご・神戸チャレンジマーケット採択
 平成29年1月 製造場所が完成し菓子製造業許可取得
 菓子製造業を創業
 平成29年2月 アグリフード EXPO 2017 に出展 通販会社、喫茶店と取引開始



たんば JUN ちゃん農園

「丹波発大人の Pongashi」は大人向けのコーヒーや紅茶に合うポン菓子として製造しており、イベントや子供のおやつといった一般的なイメージからの転換を図っています。「丹波発大人の Pongashi」は玄米、黒大豆を主たる原料とし、焦しバターとカラメルによる風味付けをした上品な苦味・黒豆の香ばしさとコクのある新たな食感のポン菓子です。また一方では、ポン菓子は農耕民族の文化として、日本人の心に郷愁と懐かしさを感じていただけるものと思います。

当農園は、「地産地消」「食の安全・安心」をモットーに営んでいます。本製品の原材料は、兵庫県認証食品の丹波市産「しぐら米」玄米と、主に自社農園栽培の黒大豆です。黒大豆は丹波三宝と呼ばれている丹波市特産品の一つです。その他に使用している材料は砂糖とバターのみであり、余分な添加物は使用していませんので、「安全・安心」な製品を提供できていると考えています。また本製品は、「小麦」を一切使用していませんので、小麦アレルギーの方にもグルテンフリーのお菓子として安心して召し上がっていただけるものと考えています。

カラメルの濃度を工夫しているので、口に入れてだけで軽くポロポロとカラメルからこぼれ落ち、優しく広がる丹波の味覚を楽しんで頂けます。風味のバリエーションとしてピリ辛などの姉妹品もあります。



わくわく部門

ナチュラル
サンマルセラン

会社概要

所在地 兵庫県丹波市春日町野村 83
 代表者 婦木敬介
 創業 2016年
 従業員数 1名
 事業内容 ナチュラルチーズの製造・販売
 問合せ先 TEL/FAX：0795-74-0820
 H P <http://fukifarm.com/shop-chse1smarce.html>

会社沿革

平成28年 2月 丹波婦木農場チーズ工房製造認可
 平成28年 6月 サンマルセラン販売開始



丹波婦木農場チーズ工房

婦木農場は、この丹波の地で、先祖代々家族で農業を営んできました。酪農や、米・野菜の栽培だけでなく、平飼い鶏卵や餅・麦茶の加工にも取り組んでおり、平成25年からは農家民宿もスタートしました。

昭和初期から乳牛を飼育し、地元の酪農組合のノンホモ低温殺菌牛乳用として長年出荷していました。牛には、野菜作りで出た野菜くずや田畑の畦草を刈り与え、牛フンを有機肥料として田んぼや畑で利用できるので、農場全体の有機的循環にも大変役立っています。現在は乳質の優れたジャージー牛を飼育しています。

平成28年の春から、その牛乳を生かしたチーズ作りがしたいという思いからチーズ工房を立ち上げました。製造は北海道で修業した長男が担当しており、原料の牛乳はもちろん、製造の肝となる乳酸菌の品質管理など衛生管理にも努めています。

ナチュラルチーズ サンマルセランは、フランス・リヨンの近くが発祥と言われ、元々はヤギ乳で作られていた酵母熟成タイプのナチュラルチーズです。作りたては、あっさりとしたクセのない味で、時間の経過とともに酵母の働きによって熟成が進み、風味とコクが増していきます。特に、ワインとの相性は抜群で、チーズの熟成具合に合わせたワインのチョイスも楽しみの一つです。熟成したチーズはスプーンですくえるほどにとろけ、そのままでも、バケットにつけて召し上がるのもおすすめです。曲げわっぱを使い、特殊加工を施したパッケージもチーズの熟成に最適な仕様になっています。

現在、チーズ熟成庫の建設計画を進めており、ゴーダチーズなど長期熟成タイプのチーズにも今後は挑戦していきます。販売は近所のレストランへの卸販売や、直接販売、ネットショップ、イベントへの出店などが主ですが、丹波唯一のチーズ工房として、さらなる認知度の向上と生産・消費拡大が期待されます。



ときめき部門

旧雲部小学校舎を

活用した地域づくり

会社概要

所在地 篠山市西本荘西ノ山2-1
 代表者 今井進
 創業 2013年
 資本金 10万円
 社員数 15名
 事業内容 カフェレストラン・野菜直売所経営
 問合先 TEL/FAX : 079-556-2570
 H P <http://satoyamakobo.tanbasasayama.jp/>

会社沿革

平成25年8月 合同会社里山工房くもべ設立
 平成25年11月 合同会社里山工房くもべグランドオープン
 平成26年4月 会社内(旧雲部小学校)にアトリエ工房オープン
 平成28年11月 会社設立3周年記念祝賀会
 料理本「いただきます」を発刊
 平成29年11月 会社設立4周年



合同会社 里山工房くもべ

平成22年3月に統廃合により閉校となった旧篠山市立雲部小学校。「長年地域を見守ってきた小学校を取り壊すのは忍びない」と、地域住民らが「合同会社里山工房くもべ」を立ち上げ、平成25年11月にカフェ&アトリエ「里山工房くもべ」をオープンしました。

「里山工房くもべ」カフェレストランでは、地消地産を基本に雲部地区で生産された特産物、野菜をベースに「おふくろ」の味、家庭のお惣菜を中心にした定食を提供しており、また、特産物を使ったお惣菜やスイーツなどもレストランで味わうこともできます。

地元野菜をふんだんに使った温かな料理が、地元の人々をはじめ、市外、県外から訪れる観光客にも人気を博しています。

教室を利用したアトリエでは、個性豊かな作家たちによる製作活動や体験教室でのワークショップ、工夫を凝らした種々の企画展なども開催しており、地域内外からの評価が高く人気があります。

野菜直売所では、季節に応じた特産物の販売や地元野菜や加工食品の販売はもちろんのこと、アトリエで製作された小物類の販売も併せて行っています。

平成23年度

受賞者名	所在	製商品	きらめき部門
明昌機工株式会社	丹波市	NANO IMPRINTER(ナノインプリンター)	
株式会社大地農園	丹波市	プリザーブ加工技術による新商品 カサブランカ等	
フルヤ工業株式会社	篠山市	熱可塑性樹脂×シリコーンゴム(熱硬化性)の同時一体成型品	
平和発條株式会社	篠山市	伸縮両効き皿ばねユニット	

受賞者名	所在	製商品	わくわく部門
株式会社やながわ	丹波市	丹波栗スイーツ「和のモンブラン」	



明昌機工株式会社



株式会社大地農園



フルヤ工業株式会社



平和発條株式会社



株式会社やながわ

平成24年度

受賞者名	所在	製商品	きらめき部門
ダンロップスポーツ株式会社 市島工場	丹波市	ゴルフボール「XX10(ゼクシオ)シリーズ SRIXON(スリクソン)Z-STARシリーズ」	

受賞者名	所在	製商品	わくわく部門
フジフレッシュフーズ株式会社 株式会社河南勇商店	篠山市	丹波山の芋加工食品「丹波山芋焼き」	
まさゆめさかゆめ	丹波市	丹波栗バームクーヘン「樹乃根 太鼓」	
株式会社西山酒造場	丹波市	清酒製造技術を応用した 「甘酒ヨーグルト」「甘麴」	



ダンロップスポーツ株式会社 市島工場



フジフレッシュフーズ株式会社
株式会社河南勇商店



まさゆめさかゆめ



株式会社西山酒造場

丹波すぐれもの大賞
過去の受賞企業・製商品

平成25年度

受賞者名	所在	製商品	きらめき部門
株式会社ニッコー	篠山市	樹脂製品の成型に用いる「金型温度調節器」	
柏原加工紙株式会社	丹波市	デザイン性の高い包装紙「teshio paper」	
ノズルネットワーク株式会社	丹波市	極微細な霧の噴射技術である「マイクロフォッグ技術による低コスト製品等」	

受賞者名	所在	製商品	わくわく部門
株式会社小田垣商店	篠山市	丹波黒の美味しさをそのまま味わえる「ドライパック丹波黒」	
株式会社やながわ	丹波市	丹波産の素材にこだわったバウムクーヘン「丹心バウム ハード（黒まめきなこ）」	



株式会社ニッコー



柏原加工紙株式会社



ノズルネットワーク株式会社



株式会社小田垣商店



株式会社やながわ

平成26年度

受賞者名	所在	製商品	きらめき部門
株式会社ささめ針	丹波市	ゆりかごのような動きで沈むジグ「クレイドル」	
谷水加工板工業株式会社	丹波市	高い防音性と耐火性を備えた船舶用建材「船舶用『おとのん』」	

受賞者名	所在	製商品	わくわく部門
株式会社西山酒造場	丹波市	通年楽しめるしぼりたての純米大吟醸酒「小鼓 路上有花シリーズ」	
鳳鳴酒造株式会社	篠山市	にごり酒と日本酒仕込みの梅酒のブレンド酒「にごりうめ」	



株式会社ささめ針



谷水加工板工業株式会社



株式会社西山酒造場



鳳鳴酒造株式会社

平成27年度

受賞者名	所在	製商品	きらめき部門
株式会社岩崎電機製作所	篠山市	産業機器等の自動検査装置「サイバーテスター」	
有限会社喜南鈴硝子	篠山市	特許取得したガラスによるガラス工芸品「花しづくシリーズ」	
Tanba Style	篠山市	丹波焼の伝統を生かした洋食の器「TS Black」「TS White」	
ミズノテクニクス 株式会社氷上工場	丹波市	無縫製技術による高速水着「GX-SONIC1」	

受賞者名	所在	製商品	わくわく部門
株式会社諏訪園	篠山市	丹波栗の風味・色合いを生かした「新栗もち」	



株式会社岩崎電機製作所



有限会社喜南鈴硝子



Tanba Style



ミズノテクニクス
株式会社氷上工場



株式会社諏訪園

平成28年度

受賞者名	所在	製商品	きらめき部門
株式会社青山産業研究所	篠山市	こはぜブレスレット	
株式会社サンパック市島工場	丹波市	フットグルーマー	
※株式会社田村機械製作所	丹波市	栗の鬼皮剥き機	

(※平成29年で廃業。現在は株式会社東洋風圧で取り扱い)

受賞者名	所在	製商品	わくわく部門
アイクレオ株式会社柏原工場	丹波市	アイクレオのバランスミルク	
丹波小林屋	丹波市	バジル茶	
合同会社とあっせ(sasarai)	篠山市	パティスリーバトン	



株式会社
青山産業研究所



株式会社サンパック
市島工場



株式会社
田村機械製作所



アイクレオ株式会社
柏原工場



丹波小林屋



合同会社とあっせ
(sasara)

平成23年度 初代「丹波すぐれもの大賞」

受賞企業・製商品の今

丹波地域で操業している特筆すべき企業の存在を広く知ってもらい、地元企業への関心を高めてもらおうと、平成23年度に始まった「丹波すぐれもの大賞」。第1回の大賞には、「きらめき部門」「わくわく部門」の2部門に計14件の応募があった中から5社が選ばれました。初代大賞に輝いた5社と、受賞した製商品の“今”を紹介します。

きらめき部門

明昌機工株式会社

NANO IMPRINTER (ナノインプリンター)

株式会社大地農園

プリザーブ加工技術による新商品 カサブランカ

フルヤ工業株式会社

熱可塑性樹脂×シリコンゴム(熱硬化性)の同時一体成型品

平和発條株式会社

伸縮両効き皿ばねユニット

わくわく部門

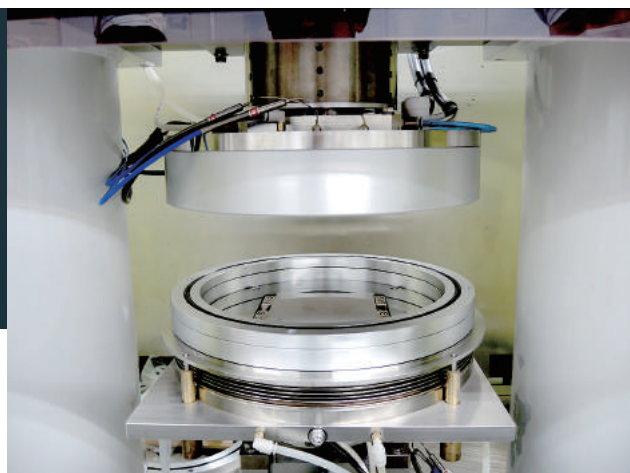
株式会社やながわ

丹波栗スイーツ「和のモンブラン」

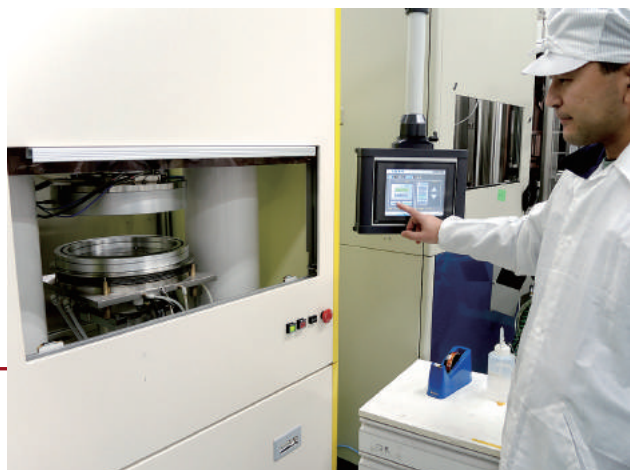
明昌機工株式会社

NANO IMPRINTER (ナノインプリンター)

ナノインプリンターは、ナノサイズの刻印を樹脂等にプレスし転写する装置。平成15年に兵庫県立大学と共同で安価で高機能なナノインプリント装置を開発しました。明昌機工の事業分野は、ナノインプリンターのほか、放射光・レーザー関連機器など4つに大別され、それぞれ開発設計からシステム制御に至るまで完全一貫受注生産を行っています。オーダーメイド製品が多い中、ナノインプリンターは同社の代表的なカタログ製品で、開発以来、大学や大手メーカーの研究開発部門に約100台を納入し、国内販売台数はトップクラスです。昨年、ナノインプリンター導入を検討されているユーザーが試作評価をすることができるクリーンルームを新設しました。また昨年秋には、兵庫県から「ひょうごオンリーワン企業」に認定されました。



ナノインプリンター



ナノインプリンターを操作しているスタッフ

本社所在地 兵庫県丹波市氷上町沼148

事業内容 放射光・レーザー・赤外線関連機器／ナノテク機器／理化学研究用機器などの開発製造

株式会社大地農園

プリザーブ加工技術による 新商品カサブランカ

2003年、日本で初めてバラのプリザーブ加工に成功し、その後、カーネーションや蘭類、世界初の菊類のプリザーブドフラワーを開発。世界でも有数のメーカーとして長年培ってきた技術を基に、カサブランカのプリザーブ加工に成功しました。当初は、市場から仕入れたつぼみの状態の切り花を大きくしてから加工していましたが、地元の丹波市山南町の花生産者にカサブランカの栽培を依頼し、花を咲かせたものを加工しています。このため品質がアップし、生産の安定化につながりました。また、「丹波すぐれもの大賞」受賞時には、花びらを一度はずしてプリザーブ加工し、ワイヤーで補強していましたが、今でははずすことなく、生花そのままを加工する技術を開発。コスト削減などが図られ、品質も向上しました。

本社所在地 兵庫県丹波市山南町きら通3(山南町工業団地内)

事業内容 プリザーブドフラワー・ドライフラワー・ドライマテリアルなどの自然素材の製造販売ならびにそれらの輸入・加工



カサブランカのプリザーブドフラワー



大地農園のショールーム

フルヤ工業株式会社

熱可塑性樹脂 × シリコンゴム (熱硬化性) の同時一体成型品

熱可塑性樹脂と液状シリコンゴム(LSR)という、相反する成形プロセスを持つ素材を同時工程内で一体成形する技術を開発。その技術に対して「丹波すぐれもの大賞」を受賞しました。樹脂とシリコンゴムを後工程で組みつけた成形品はありますが、成形を一体化した技術は国内ではまだ新しく、注目を集めています。受賞後、防水性や耐久性などが評価され、日本一のコネクタメーカーから注文を受けて自動車用コネクタの生産を始めました。平成28年11月、専用の工場棟「LSR棟」が完成。製造したコネクタはヨーロッパの自動車に使われています。今後、生産力の増強を図ると共に、医療器具や情報通信機器など幅広い分野で提案を強化していきます。

本社所在地 兵庫県篠山市大沢新110

事業内容 プラスチック製品の設計開発・製造



工場棟で自動車コネクタを製造



技術室スタッフ

平和発條株式会社

伸縮両効き皿ばねユニット

地震が頻発している今、地震対策として開発した製品です。本来は圧縮力にしか対応できない皿ばねを、皿ばねユニットの構造を工夫することで、皿ばねユニット全体として圧縮・引張両方向に作用する機構とすることができました。平和発條や清水建設など計4社で、この皿ばねを使った高性能制振ダンパー「ダイナミックスクリー」を共同開発。地震の長周期震動を抑える装置として高層オフィスビル、大手メーカーの工場、病院などに使われています。昨年秋には、日本建築センターの評定を受けました。お墨付きを得たことで今後、建物だけでなく、高速道路や橋梁、発電所など幅広い分野での採用が見込まれます。平成25年には、篠山工場敷地内に皿ばねの性能を確認するための試験棟を建てています。

本社所在地 大阪府大阪市淀川区加島 3-7-26 篠山工場 兵庫県篠山市大山下380

事業内容 皿ばね・薄板ばね・保持器・座金類線ばね・止め輪等の製造販売



皿ばねユニットの性能を調べる検査機



皿ばねユニット

株式会社やながわ

丹波栗スイーツ「和のモンブラン」

丹波を代表する特産品、丹波栗の風味が堪能できる逸品。平成25年にオープンした「夢の里やながわ」本店に併設した加工場で、地元から仕入れた新栗を加工、製造しており、丹波栗の産地にある強みを生かしています。平成25年には、農林水産省の「第1回地場もん国民大賞」を受賞。全国から800点ほどの応募があった中で最高クラスの評価を得ました。同年には「五つ星ひょうご」にも認定され、テレビでもしばしば取り上げられています。旬を大事にしたいとの思いから9月10日頃から1月中頃までの期間限定で販売。「丹波すぐれもの大賞」を受けた頃は、製造販売個数が1万個未満でしたが、今では約2万個になりました。やながわでは約100種類の和洋菓子を扱っていますが、押しも押されぬ看板商品です。

本社所在地 兵庫県丹波市春日町野上野 209-1

事業内容 丹波の特産加工(丹波黒大豆煮豆、丹波栗ペースト・渋皮煮、丹波大納言小豆餡等)丹波の特産品を利用した和洋菓子(生菓子・焼き菓子・ゼリー等)、緑茶



和のモンブラン



「夢の里やながわ」のスタッフたち

平成29年度 丹波すぐれもの大賞 応募要領

丹波県民局では、地元企業の優れた企画・技術力を広くアピールし、地域の産業を活性化するため、平成23年度から「丹波すぐれもの大賞」による表彰を行っています。

☆ 受賞製商品等を紹介するパンフレットを作成し、地域内外へ発信！

☆ 受賞者には丹波焼陶板の表彰楯を贈呈！

☆ 就職説明会などで、受賞企業等を積極的にPR！

◆ 表彰部門 ◆

きらめき部門 …革新的で高い技術を要し、産業及びビジネスで活用される製商品

わくわく部門 …丹波地域の特色を活かした、独創的で優れた品質の食料品

ときめき部門 …地域資源(※)を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベント

※ 丹波地域の歴史的な町並、社寺、古民家や廃校、農産物や工芸品等

◆ 応募資格 ◆

丹波地域内で事業活動する企業・団体・グループ
又は個人

◆ 応募方法 ◆

所定の応募書類1部を提出。自薦・他薦不問。

◆ 募集期間 ◆

平成29年8月15日(火)～平成29年9月15日(金)
※募集期間延長しました：平成29年10月13日(金)

◆ 審査方法 ◆

書類による1次審査及びプレゼンテーション
による2次審査を行い、受賞者を決定。



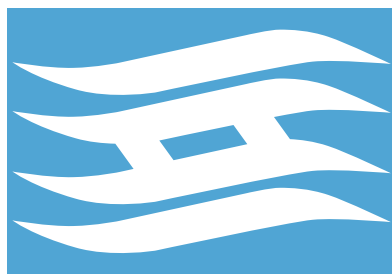
〈問い合わせ先〉

兵庫県丹波県民局 県民交流室地域振興課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688

TEL. 0795-73-3788 FAX. 0795-72-3077

ホームページ <http://web.pref.hyogo.jp/area/tanba/index.html>



丹波すぐれもの大賞

兵庫県丹波県民局
県民交流室 地域振興課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688
TEL: 0795-73-3788

平成30年3月発行
29丹波Ⓔ2-013A4